

平成29年度実施事業報告

和光市食育推進コンソーシアム会議



2018年3月16日（金）

初年度活動(11月からの取組)

- 【イベントタイトル】 わこう版「食育」けんこう応援イベント ～見直そう！食生活～
- 【コンセプト】 おいしく、たのしく、はじめられる健康的な食生活（減塩・減糖）の提案、食育の啓発
- 【日時】 2018年1月20日（土） 10:00～14:00
- 【場所】 イトーヨーカドー和光店 2階特設スペース／1階食品売り場
- 【主催・参加運営】 主催：和光市 保健福祉部 健康保険医療課
運営：和光市食育推進コンソーシアム会議

<コンソーシアム参加企業・団体>

池田物産・イトーヨーカドー・いなげや・オリジン東秀・コミュニティストア
高齢者福祉センター“ゆうゆう”・子育て世代包括支援センター
すたんど あっぷ和光・すてっぷ・生活介護施設“ゆめちか”・セブンイレブン
地域包括支援センター・農業後継者倶楽部・ひまわり
ぽけっとステーション・わこう暮らしの生き生きサービスプラザ
和光市食文化研究会・和光福祉会

*50音順

<庁内関係課>

長寿あんしん課・社会援護課・保育サポート課・市民活動推進課
学校教育課・保育施設課・産業支援課

イベント参加協力者（敬称略）

項目	氏名（敬称略）	所属
統括責任者	牧田 いづみ	和光市保健センター 所長
イベント運営・管理		
会場運営責任者	牧田 いづみ	和光市保健センター 所長
会場運営副責任者	梶原 絵里	和光市健康保険医療課
	佐藤 由紀子	和光市健康保険医療課
場内アナウンスMC	梶原 絵里	
会場管理者	中野 清人	イトーヨーカドー
誘導スタッフ （1F正面玄関前）	車田 光代 阿由葉 和子	ヘルスサポーター
誘導スタッフ （2F催事場）	木村 玲子（PM） 別所 早苗 本田 八千代	
誘導スタッフ（2F エレベーター踊り場）	沢田 明美（AM） 丸山 やす子	
着ぐるみ（わこうち） 介助	並木 芳則 本多 隆弘	
着ぐるみ（さつきちゃん） 介助	加藤 隆治 加藤 博明	農業後継者倶楽部

項目	氏名（敬称略）	所属
各催事コーナー		
試食コーナー （1F）		イトーヨーカドー
天然だし試食 （2F）	池田 正	池田物産
	池田 雅子	
	池田 慎太郎	
食育講座・クイズ （2F）	山口 はるみ	ほけっとステーション
	野島 まり	
	谷 美菜子	
	仙台 順子	
	乾 麻希	
お食事チェック （2F）	塩谷 和也	ダスキン わこち暮らしの生き生きサービス プラザ
	萩平 理恵	
	村上 佐和	
赤ちゃん休憩室 （2F）	水澤 幸枝	子育て世代包括支援センター
	大内 宏子（AM） 八木 雅美（PM）	子育て世代包括支援センター
栄養相談 （2F）	池田 香理	和光市事業協力員 （保健師）
	宇波 由美子 大塚 淑美	和光市事業協力員 （管理栄養士）

普及イベントの実施

「食育の大切さ」を知っていただく普及イベントを、集客力のある拠点にて実施するため。

● イベント実施目的

「食育」というものの意識付けと、家庭で簡単に実施できる食育活動の一例を持ち帰っていただき、実践のきっかけとする。

1. 摂取過多・不足による影響の伝達

自分の食生活の振り返り
チェックシートを記入し、
自身の状況を把握する



- ・チェック欄と栄養情報を掲載したチラシ配布
- ・食事カードによる塩分やカロリーの摂取量を知る。
- ・食育講座

2. 減塩調理方法の習得

試食・試飲による減塩
でもおいしい事を体得



- ・減塩メニューのデモンストレーション
- ・レシピ配布

- 【イベントタイトル】 わこう版「食育」けんこう応援イベント ～見直そう！食生活～
- 【コンセプト】 おいしく、たのしく、はじめられる健康的な食生活（減塩・減糖）の提案、食育の啓発
- 【日時】 2018年1月20日（土） 10:00～14:00
- 【場所】 イトーヨーカドー和光店 2階特設スペース／1階食品売り場
- 【主催・参加運営】 主催：和光市 保健福祉部 健康保険医療課
運営：和光市食育推進コンソーシアム会議

<コンソーシアム参加企業・団体>

池田物産・イトーヨーカドー・いなげや・オリジン東秀・コミュニティストア
高齢者福祉センター“ゆうゆう”・子育て世代包括支援センター
すたんど あっぷ和光・すてっぷ・生活介護施設“ゆめちか”・セブンイレブン
地域包括支援センター・農業後継者倶楽部・ひまわり
ぽけっとステーション・わこう暮らしの生き生きサービスプラザ
和光市食文化研究会・和光福祉会

*50音順

<庁内関係課>

長寿あんしん課・社会援護課・保育サポート課・市民活動推進課
学校教育課・保育施設課・産業支援課

イベント参加協力者（敬称略）

4 / 15

項目	氏名（敬称略）	所属
統括責任者	牧田 いづみ	和光市保健センター 所長
イベント運営・管理		
会場運営責任者	牧田 いづみ	和光市保健センター 所長
会場運営副責任者	梶原 絵里	和光市健康保険医療課
	佐藤 由紀子	和光市健康保険医療課
場内アナウンスMC	梶原 絵里	
会場管理者	中野 清人	イトーヨーカドー
誘導スタッフ （1F正面玄関前）	車田 光代 阿由葉 和子	ヘルスサポーター
誘導スタッフ （2F催事場）	木村 玲子（PM） 別所 早苗 本田 八千代	
誘導スタッフ（2F エレベーター踊り場）	沢田 明美（AM） 丸山 やす子	
着ぐるみ（わこうち） 介助	並木 芳則 本多 隆弘	
着ぐるみ（さつきちゃん） 介助	加藤 隆治 加藤 博明	農業後継者倶楽部

項目	氏名（敬称略）	所属
各催事コーナー		
試食コーナー （1F）		イトーヨーカドー
天然だし試食 （2F）	池田 正	池田物産
	池田 雅子	
	池田 慎太郎	
食育講座・クイズ （2F）	山口 はるみ	ほけっとステーション
	野島 まり	
	谷 美菜子	
	仙台 順子	
	乾 麻希	
お食事チェック （2F）	塩谷 和也	ダスキン わこち暮らしの生き生きサービス プラザ
	萩平 理恵	
	村上 佐和	
赤ちゃん休憩室 （2F）	水澤 幸枝	子育て世代包括支援センター
	大内 宏子（AM） 八木 雅美（PM）	子育て世代包括支援センター
栄養相談 （2F）	池田 香理	和光市事業協力員 （保健師）
	宇波 由美子 大塚 淑美	和光市事業協力員 （管理栄養士）

⑤だし試飲・講座（池田物産）



⑥食育クイズ・講座（ぽけっとステーション）



⑦お食事チェック（暮らしの生き生きサービスプラザ）



⑧栄養相談（保健センター）



- ・お食事チェック（生き活きサービスプラザ）、クイズ・講座（ぽけっとステーション）、相談コーナー（保健センター・子育て世代包括支援センター）で配布・回収
- ・回収数 69名 / 110名（62.7%）

性別	回答数 (人)	割合 (%)
男性	15	21.7
女性	46	66.7
回答なし	8	11.6
	69	100.0

年代	回答数 (人)	割合 (%)
20代	3	4.3
30代	31	44.9
40代	16	23.2
50代	6	8.7
60代	2	2.9
70代以上	11	15.9
	69	100.0

<属性>

・通常、健康意識の高い高齢層が多いが、子連れ（若年・中年層）の参加が約7割と多かった。

来場のきっかけ（複数回答）	(人)
広報・ホームページ	8
掲示板	1
チラシ・ポスター	9
職員からの案内	13
家族友人の誘い	3
買い物に来て	37

<参加のきっかけ>

・買い物ついでの参加が半数以上。

減塩減糖の実践	回答数 (人)	割合 (%)
すでにやっている	22	31.9
これを機にやってみたい	45	65.2
するつもりはない	2	2.9
	69	100.0

＜減塩減糖の意識づけ＞

・参加者のほとんどは、「実施している」、「これから実践したい」と回答。

⇒いかに実践意識を長く継続してもらうかが今後課題。

今後期待する取り組み、 知りたい情報（複数回答）	若年層 (人) (N=34)	中年層 (人) (N=22)	高年層 (人) (N=13)	総数 (人) (N=69)
自分や家族の適量	17	13	8	38
料理の作り方	17	8	8	33
健康レシピ	16	10	7	33
商品の選び方、献立の組合せ方	15	11	8	34
健康商品の種類が増える	8	6	3	17
健康商品が低価格で提供される	21	11	4	36
健康商品の取扱店舗が増える	11	6	2	19
栄養成分表示された商品が増える	11	7	8	26

・若年層・中年層は低価格化についてニーズがあり、いかに健康面のメリットと価格との折り合いをつけるかがポイントになる。

・特に若年層ではレシピ提供に留まらず、調理技術支援も必要。

・高齢層は具体的な実践に結びつく選び方・作り方についてニーズがある。

① 1階正面入り口での誘導



② 2階エスカレーター踊り場での誘導



③ 1階減塩メニュー試食（イトーヨーカドー）



④ 着ぐるみによる集客（農業後継者倶楽部）



⑤だし試飲・講座（池田物産）



⑥食育クイズ・講座（ぽけっとステーション）



⑦お食事チェック（暮らしの生き生きサービスプラザ）



⑧栄養相談（保健センター）



⑨育児相談（子育て世代地域包括支援センター）

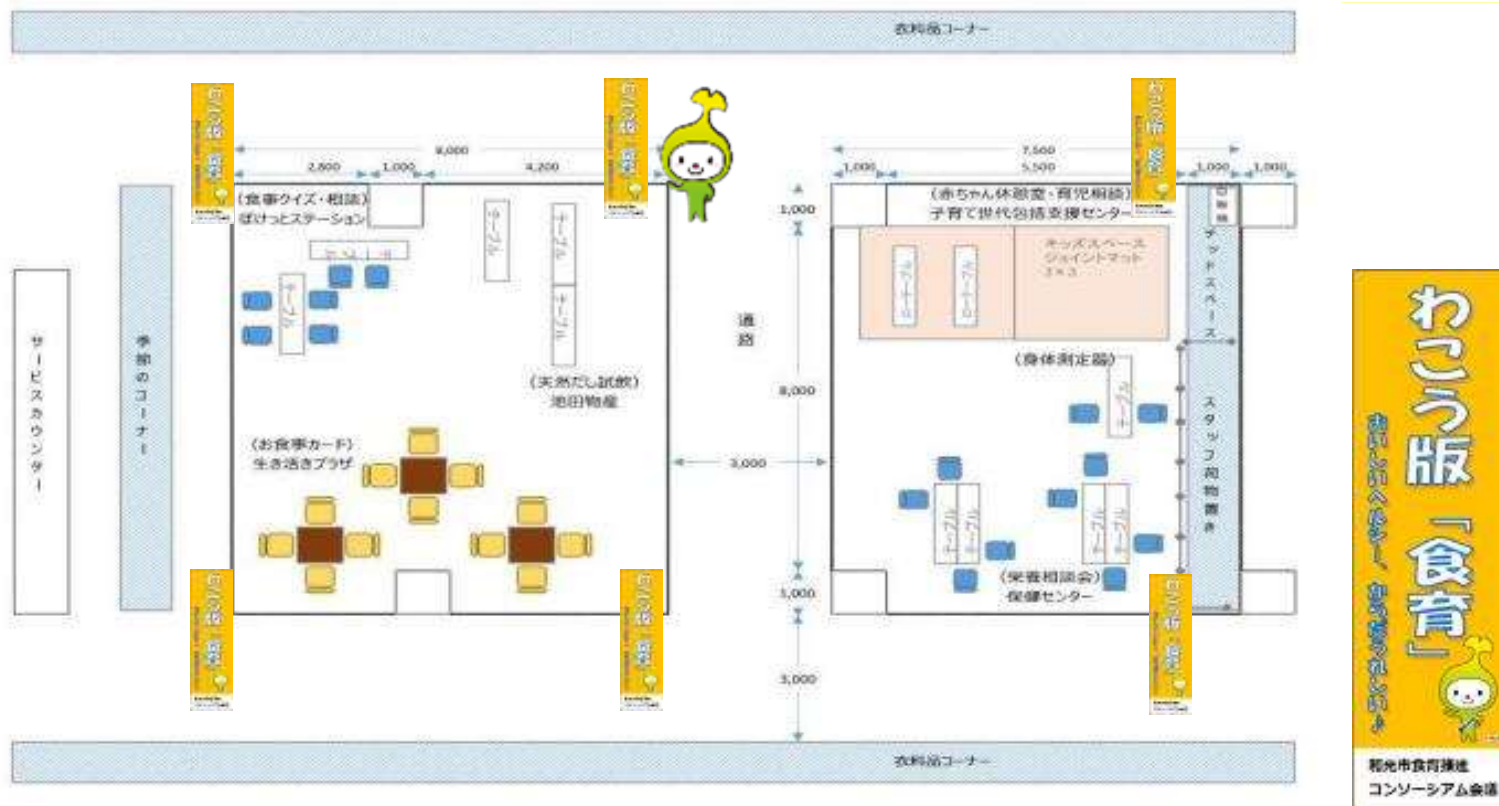


⑩紙芝居（農業後継者倶楽部・ヘルスサポーター）



⑪イベント参加スタッフ





- ・食育という言葉が認識してもらうため、会場内に「食育とは何か」の大型看板があるとよかった。
- ・会場が想定よりも広く、閑散とした印象となり、入場を躊躇される雰囲気になってしまっていた。
- ・わこうっち、さつきちゃんは、来客者の足止めに一定の効果があったが、写真撮影がされると会場を後にする傾向があり、会場内に撮影場所を設置するなど、エリア内に入りやすい流れや賑わいを作る工夫が必要であった。
- ・集客力のあるだしの試飲コーナーの動線に向かって右から左にして、他のコーナーに足を運びやすくなるなど、全体的な来場者の動線を考えた配置レイアウトが必要だった。
- ・実施内容がわかりやすいよう、コーナー看板がもっと大きい方がよかった。

告知ポスター(A3) / チラシ(A4橙色紙)



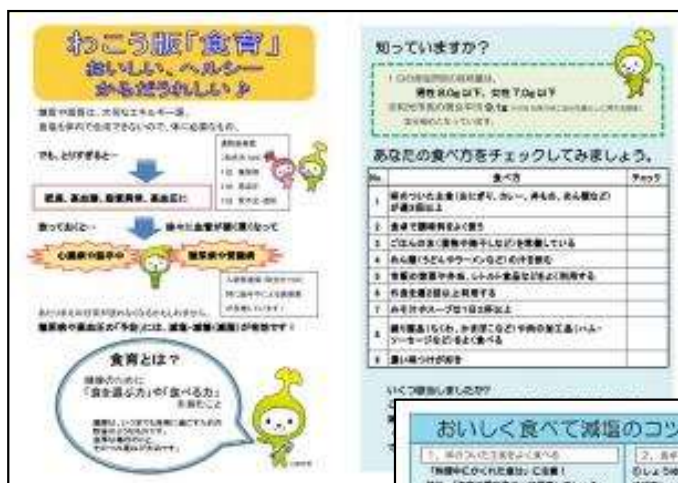
ポスター掲示 94枚

- ・市役所及び公共施設 31ヶ所
- ・コンソーシアム参加事業所 33ヶ所
- ・市内掲示板 30ヶ所

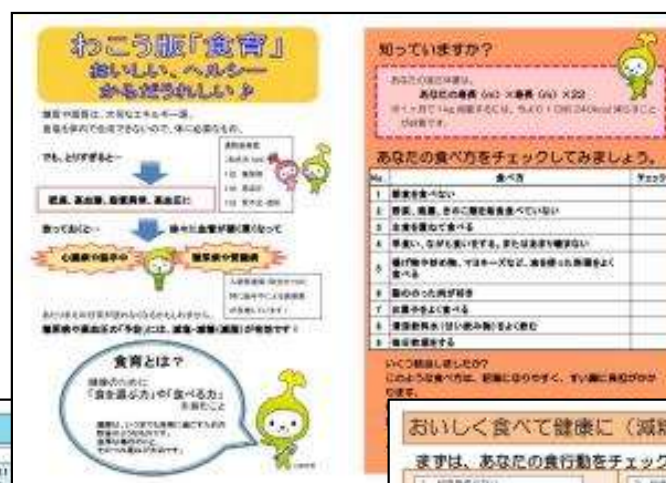
チラシ配布 2,750枚

- ・保育園 1,100枚 / 18ヶ所
- ・小規模 380枚 / 20ヶ所
- ・乳幼児健診 140枚 / 2回
- ・健診結果説明会 190枚 / 1回
- ・市役所及び公共施設 400枚
(市民文化センター・公民館・図書館・地域センター・
コミセン・総合児童センター・児童館・勤労福祉センター・
勤労青少年ホーム・農業体験センター・駅出張所・
総合福祉会館・新倉高齢者福祉センター)
- ・コンソーシアム参加事業所 540枚

配布共通チラシ(A4横、両面) ※二つ折りA5サイズ、2種セットで配布



減塩バージョン (おもて)



減糖・減脂バージョン (おもて)

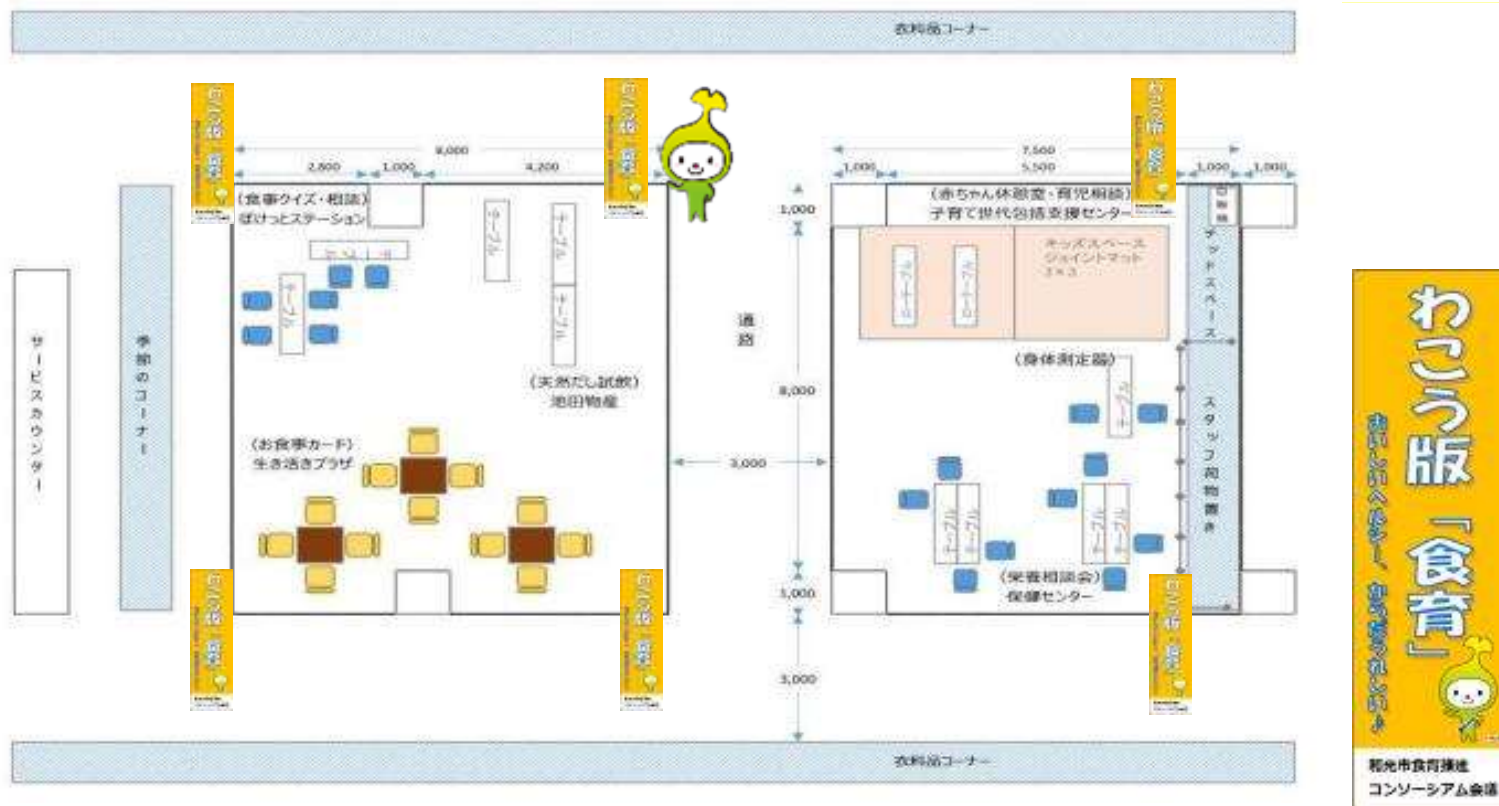


(中面)



(中面)

- 家庭で活用できる共通チラシ (中面) の付属ツール (塩分一覧表等) があるとよかった。
- 市内スーパーで開始したポップ表示普及のためのツールが別途あるとよかった。



- ・食育という言葉が認識してもらうため、会場内に「食育とは何か」の大型看板があるとよかった。
- ・会場が想定よりも広く、閑散とした印象となり、入場を躊躇される雰囲気になってしまっていた。
- ・わこうっち、さつきちゃんは、来客者の足止めに一定の効果があったが、写真撮影がされると会場を後にする傾向があり、会場内に撮影場所を設置するなど、エリア内に入りやすい流れや賑わいを作る工夫が必要であった。
- ・集客力のあるだしの試飲コーナーの動線に向かって右から左にして、他のコーナーに足を運びやすくなるなど、全体的な来場者の動線を考えた配置レイアウトが必要だった。
- ・実施内容がわかりやすいよう、コーナー看板がもっと大きい方がよかった。

■ よかった点・継続していきたい点

- ・相談拠点の利用紹介につながった。
- ・利便性の高い会場、また着ぐるみの活用やコラボによる企画により、ファミリー層の来場が多かった。
- ・参加を通して、他の団体と交流を持つことができた。
- ・イベントそのもの。コンソーシアム会議が実際に動き出したことが何よりよかった。
- ・興味がない通りがかりの人や20～30代の若い世代にも、健康づくりや減塩・減糖の話をする事ができた。

■ 改善が必要な点

- ・参加団体数や来場者数が少なかった。
- ・「食育 = 子ども向け」の認識が一般的で、成人の興味・関心は低いと感じられた。
- ・持病のある方を除き、食事のセルフコントロールできている方は少数である。
- ・イベント単発で終わらず、日常での実践につなげるための取組やツール・アイテムの開発が必要。

■ 今後実施したいこと

- ・利用者にとっての時間的・立地的な利便性を生かした、ターゲットを絞った講座や相談事業（特定保健指導、プレパママ向け講座等）の実施
- ・今回イベントのアフターフォローの実施
 - 例）レシピの動画配信、作り方やだし講座、農家訪問等のライブ中継配信、食育グッズ（冷蔵庫添付ツールやカレンダー）、食育マーク（ポップやシール）の作成
- ・新規イベントや他のイベントへの参加
 - 例）減塩・減糖メニューの料理教室や料理コンテストの開催、鍋合戦や市民まつり、軽トラ市等での減塩・減糖メニューの試食・提案
離乳食・幼児食・高齢者向けなど年代に応じた形態の試食や相談
- ・飲食店のコンソーシアム参加とコラボ